

日本産業衛生学会 近畿地方会ニュース

発行所 日本産業衛生学会近畿地方会
〒602-8048 京都市上京区下立売通
小川東入ル
中西印刷株式会社（日本産業衛生学会
近畿地方会事務局支局）
発行責任者・中西一郎（地方会長）
<http://jsoh-kinki.jp>

第 67 回近畿地方会総会を終えて

近畿地方会長 中西 一郎



昨年の選挙で地方会長に選任されました東レ株式会社滋賀事業場健康管理センターの中西一郎と申します。どうぞよろしくお願いいたします。小生は平成6年から現在の職場で専属産業医をさせていただいております。もとより浅学菲才の身ではございますが、皆様のご協力をえて任期2年を全うしたいと思います。

さて、森岡前会長は事務支局の体制にされ4年間運営されました。自身の職場も地方会の事務を分担することができませんので、同様に支局体制を引き継いでまいります。副会長は地方会幹事も長く、中央の政策法制度委員会の委員で顔も広い森口次郎先生をお願いいたしました。

産業衛生学会は公益社団法人化され、運営や費用等についてこれまで以上に管理を厳しくせねばならなくなってきました。また2020年に90周年を迎え、来る100周年に向かって様々な取り組みが始まります。近畿地方会も体制を強化し、総務・財務、学術・研修会、広報、部会・研究会等の連携の4つの役割を幹事の先生方でご担当いただき、それぞれに正副2名の理事をお願いしております。理事・監事・幹事併せて27名で運営してまいります。

6月8日に第67回近畿地方会の総会を無事終えることができました。会員の皆様のご協力に感謝いたします。昨年度も例年同様、総会の際のシンポジウム、和歌山での年次学会、各部会・研究会活動と部会研究会の連携プロジェクトを開催し、多数ご参加いただきました。この場を借りて御礼申し上げます。今年度も事業計画に沿って有意義な集まりを催していきたいと考えております。なお、産業衛生学会自体の収支改善のため地方会に交付される本部助成金も減額されることが決まっております。収入の面で若干不安ではありますが効率的な運用に心がけてまいります。

会員の皆様の積極的なご参加をどうぞよろしくお願いいたします。



第 67 回近畿地方会 総会会場の様子

〈2019-2020 年度体制（敬称略）〉

地方会長	中西一郎	
副会長	森口次郎	
監事	廣部一彦	鮫島真理子
事務局	中西印刷	OH アシスト

	担当理事		担当代表幹事		担当幹事		
	正	副					
総務・財務	井上幸紀	西田和彦	森岡郁晴		河津雄一郎	森山和郎	圓藤吟史
学術・研修会	井上幸紀	林朝茂	伊藤正人		平田真以子	長見まき子	祖父江友孝
					丸山総一郎	上原新一郎	
広報	鈴木純子	久保田昌詞	清原達也	村田理絵	圓藤陽子	藤岡滋典	堤梨恵
部会・研究会等の連携	久保田昌詞	鈴木純子	濱田千雅		岩根幹能	荒木郁乃	

日本産業衛生学会近畿地方会第 67 回総会議事録

日 時：2019 年 6 月 8 日（土）13：00～13：50

場 所：大阪市立大学医学部学舎 4 階大講義室

1. 開会

2. 地方会長挨拶

3. 昨年度物故会員の報告

阿部 源三郎（あべ げんざぶろう）名誉会員

廣田 昌利（ひろた まさとし）氏

4. 黙祷

5. 議長選出

日野孝会員（日本予防医学協会）を議長に選出した。

6. 総会成立の確認

2019 年 6 月 1 日現在の地方会員数 1,375 名のうち出席 55 名、委任状 365 名で、会員の 5 分の 1 以上の出席により総会が成立（地方会会則第 18 条）していることを確認した。

7. 議事録署名人選出

竹下達也会員（和歌山県立医大）と、原田昌子会員（パナソニックセミコンダクターソリューションズ）を議事録署名人に選出した。

8. 議事

1) 2018 年度近畿地方会事業報告

中西地方会長より、総会資料 1 頁と 2 頁に基づいて事業報告があり、異議なく承認された。

2) 2018 年度決算報告

中西地方会長より、総会資料 3 頁に基づき説明があり、異議なく承認された。

3) 2018 年度監査報告と監査意見

大脇多美代監事より、日高秀樹監事と事務局立ち合いで必要書類を監査した結果、適正に管理されている旨の報告があった。

4) 2019 年度事業計画

中西地方会長から、総会資料 5 頁と 6 頁に基づいて説明があり、異議なく承認された。

5) 2019 年度予算案

中西地方会長から、総会資料 3 頁に基づいて説明があり、異議なく承認された。

6) 第 58 回近畿産業衛生学会（2018 年 11 月 10 日・和歌山県 JA ビル）の報告

岩根大会長から、報告があった。

7) 第 59 回近畿産業衛生学会（2019 年 11 月 9 日・立命館大学）の進捗状況

森口大会長から基調講演・シンポジウム・教育講演・ランチョンセミナーを企画している等、概要・進捗について報告があった。

8) 第 60 回近畿産業衛生学会（2020 年）の準備状況

濱田幹事より、準備状況について岡田大会長のコメントが紹介された。日程は未定だが、例年通り土曜日開催、場所は大阪市内を予定していることが報告された。

9) その他

・昨年のご意見を受けて、幹事会議事録の一部をホームページに載せるようにした。総会の参加は会員の権利なので、誰もが参加しやすいように、申し込みの必要はないと案内するようにした。

・第 58 回近畿産業衛生学会は余剰金が出たので、この余剰金を地方会に戻して地方会の収入とした。監事から監査の際にアドバイスもあり、今後は近畿産業衛生学会で赤字が出たときのために備えていくこととした。

9. 議長解任

10. 閉会

質疑応答

* 回答は中西地方会長から

質問 1：中西印刷の会員管理の費用は事業費の委託費に入っているが、管理費に入れるべきである。

回答 1：業務をまとめて委託しているの、委託費に入っているが、管理的な費用を分けて請求してもらうことができるかどうか確認してみる。

質問 2：中西印刷への支出項目が多いように思える。

回答 2：今まで事務局を大学にお願いしていたので、大学の職員の方が無償でいろいろな事務をやってもらっていたが、大学以外でも安定して事務局ができるように、多くの事務作業を委託している。そのため支出項目が多くなっている。

監査報告

私達は平成 30 年度の経理における近畿地方会の職務の遂行を監査するため、地方会長と事務局員から事業の報告を聞き、重要な経理関係書類を閲覧し、その他必要と思われる方法を用いて監査した結果、次の通り報告します。

1. 平成 30 年 3 月 1 日から平成 31 年 2 月 28 日までの収支報告書に記載された、平成 30 年事業年度の収支は適正に表示されているものと認めます。
2. 事務局の職務遂行に関する不正の行為、または法令もしくは定款に違反する事実の有無については、指摘すべき事実はなく、適切かつ効率的な職務遂行がなされたものと認めます。

以 上

公益社団法人 日本産業衛生学会
近畿地方会

平成 31 年 4 月 13 日

監事

日高秀樹

平成 31 年 4 月 13 日

監事

大脇多美代

2018 年度近畿地方会収支報告および 2019 年度予算

1. 収入の部

科 目	2018 年度予算額	2018 年度決算額	2019 年度予算額	摘 要
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	400,000	418,000	400,000	
協賛金等収益	0	0	0	
参加登録料収益	400,000	418,000	400,000	総会特別講演等当日参加費、連携プロジェクト資料代
受取補助金等	2,000,000	2,111,392	1,650,000	
受取本部助成金	2,000,000	2,111,392	1,650,000	本部示達額 - 源泉徴収分
受取負担金	2,000,000	2,171,800	2,000,000	
受取活動費	2,000,000	2,171,800	2,000,000	2,000 円×1,002 人
雑収益	200	242,897	30	
受取利息	200	28	30	
雑収益	0	242,869	0	第 58 回近畿産業衛生学会余剰金返金
経常収益計	4,400,200	4,944,089	4,050,030	

2. 支出の部

科 目	2018 年度予算額	2018 年度暫定額	2019 年度予算額	摘 要
事 業 費	4,350,000	3,987,766	4,044,000	
臨時雇賃金	60,000	60,000	60,000	総会特別講演・シンポジウム受付
会場費	150,000	188,710	190,000	総会特別講演・シンポジウム会場費
旅費交通費	10,000		0	
通信運搬費	20,000	13,906	20,000	
印刷製本費	120,000	194,582	160,000	
懇親会費	0	0	0	
消耗品費	10,000	5,001	10,000	
機関紙印刷費	700,000	565,380	600,000	地方会ニュース印刷費
機関紙編集費	0	0	0	地方会ニュース編集費
機関紙発送費	600,000	476,006	500,000	地方会ニュース発送費
研究費	100,000	47,589	100,000	大学・部会・研究会の連携プロジェクト
諸謝金	100,000	90,000	100,000	総会特別講演・シンポジウム講師謝金等
学会助成金	0	0	0	
協議会助成金	0	0	0	
大会研修会助成金	500,000	500,000	500,000	近畿産業衛生学会助成金
部会助成金	450,000	150,000	300,000	150,000 円×2 部会（技術部会は辞退）
研究会助成金	100,000	100,000	100,000	50,000 円×2 研究会
委託費	1,050,000	1,024,000	1,024,000	総会（16 万円）地方会ニュース（86 万 4 千円）委託費
開発保守費	370,000	570,000	370,000	HP 関連
雑 費	10,000	2,592	10,000	振込手数料等
管 理 費	1,249,600	1,227,391	832,600	
給料手当	0	0	0	
理事幹事会費	250,000	266,122	250,000	
旅費交通費	100,000	67,900	75,000	
通信運搬費	40,000	45,169	45,000	総会・代議員会出欠はがき受取手数料
役員改選費	400,000	403,064	20,000	
印刷製本費	60,000	71,724	69,000	総会・代議員会出欠はがき印刷費
消耗品費	10,000	578	1,000	
委託費	369,600	369,600	369,600	幹事会（24 万円）会員管理（129,600 円）委託費
雑 費	20,000	3,234	3,000	振込手数料・残高証明書発行手数料等
経常費用計	5,599,600	5,215,157	4,876,600	
当期一般正味財産増減額	-1,199,400	-271,068	-826,570	
一般正味財産期首残高	4,939,272	3,739,872	3,468,804	
一般正味財産期末残高	3,739,872	3,468,804	2,642,234	

日本産業衛生学会近畿地方会 2019年度 第1回幹事会議事録

日 時：2019年6月8日（土） 10：50～12：00

場 所：大阪市立大学医学部学舎4階中講義室1

1. 昨年度物故会員の報告

阿部 源三郎（あべ げんざぶろう）名誉会員

廣田 昌利（ひろた まさとし）氏

2. 議事

- (1) 2018年度事業報告（資料1頁と2頁）
…中西地方会長
- (2) 2018年度決算報告（資料3頁）
…中西地方会長
- (3) 2018年度監査報告（資料4頁）と監査意見
…日高監事と大脇監事
- (4) 2019年度事業計画案（資料5頁）
…中西地方会長
- (5) 2019年度予算案（資料3頁右端列）
…中西地方会長
- (6) 選挙管理委員の選任について
…中西地方会長
- (7) 大学・部会・研究会等との連携プロジェクト
…久保田担当理事
- (8) 第59回近畿産業衛生学会（2019年11月9日）の進捗状況
…森口大会長
- (9) 第60回近畿産業衛生学会（2020年）の準備状況
…岡田大会長（代理：濱田幹事）
- (10) 第61回近畿産業衛生学会（2020年）大阪以降の開催地について
…中西地方会長
（和歌山→京都→大阪→兵庫→大阪→滋賀→奈良→大阪→和歌山）
- (11) その他
 1. 近畿地方会総会（6月8日）の特別プログラムについて
…井上理事
 2. 地方会ニュースの発行状況とHP更新状況
…清原幹事
 3. 本部理事会報告
…井上理事
 4. その他 郵便料金等の値上げ
2月の行事について
選挙の年の年次学会の代議員会について

2019年度 第1回代議員会議事録

日 時：2019年6月8日（土） 12：10～12：50

場 所：大阪市立大学医学部学舎4階中講義室1

1. 開会
2. 地方会長挨拶
3. 昨年度物故会員の報告
中西地方会長より昨年度物故会員の報告があった。
阿部源三郎（あべ げんざぶろう）名誉会員
廣田昌利（ひろた まさとし）氏

4. 議長選出

豊川彰博会員（豊川産業医事務所）を議長に選出した。

5. 代議員会成立の確認

2019年6月1日現在の代議員数111名のうち出席39名、委任状40名で、現在数の過半数出席により代議員会が成立（地方会会則第13条）していることを確認した。

6. 議事

- 1) 2018年度近畿地方会事業報告
中西地方会長より代議員会資料1頁と2頁に基づいて事業報告が行われ、異議なく承認された。
- 2) 2018年度決算報告
中西地方会長より代議員会資料3頁に基づいて決算報告が行われた。
- 3) 2018年度監査報告と監査意見
日高監事より代議員会資料4頁のように収支報告、業務遂行は適正に行われているとの監査報告があった。監査報告を受けて、2)は異議なく承認された。
- 4) 2019年度事業計画案
中西地方会長より代議員会資料5頁と6頁に基づいて2019年度事業計画案が説明され、異議なく承認された。
- 5) 2019年度予算案
中西地方会長より代議員会資料3頁に基づいて2019年度予算案の説明があり、異議なく承認された。
- 6) 第58回近畿産業衛生学会の報告
岩根大会長より2018年11月10日に開催された第58回近畿産業衛生学会の報告があった。
- 7) 第59回近畿産業衛生学会の進捗状況
森口大会長より資料に基づいて2019年11月9日に開催される第59回近畿産業衛生学会の概要・進捗について報告された。
- 8) 第60回近畿産業衛生学会の準備状況
濱田幹事より第60回近畿産業衛生学会の準備状況について岡田大会長のコメントが紹介された。日程は未定だが、例年通り土曜日開催、場所は大阪市内を予定していることが報告された。
- 9) その他
中西地方会長より近畿産業衛生学会の開催県の順番について説明があり、次々回2021年度は兵庫で開催される予定であることが報告された。
清原幹事より、地方会ニュースの発行状況とHP更新状況について報告された。

7. 議長解任

議事が終了したため、豊川会員は議長を解任された。

8. 閉会

第 67 回近畿地方会総会特別講演 「改正 障害者雇用促進法」を拝聴 して

圓藤労働衛生コンサルタント
事務所



圓 藤 陽 子

障害者雇用の現状と障害者雇用に関する法制度について、大阪労働局職業安定部職業対策課 課長補佐の中塚毅先生から 1 時間のご講演をいただきました。障害者雇用の現状として、ハローワークにおける障害者の新規求職申し込み件数と就職件数の最近 10 年における推移が紹介されました。それによると精神障害者の顕著な増加がみられ、平成 29 年度においては身体障害者、知的障害者を含めた全障害者の約半分を占めています。障害者雇用促進法は、1960 年に身体障害者雇用促進法として制定され、その後、対象が知的障害者や精神障害者に拡大された歴史が概説され、法令上の障害者の定義と雇用義務の対象が説明されました。これについては、場内からの質問に対して丁寧に説明がなされましたので、雇用義務の対象者が手帳所持者であり、雇用率はこれに基づいて算出されますので、就職希望者には手帳の交付申請を勧めることがよく理解できました。職業紹介・地域就労支援としては、ハローワーク、障害者就業・生活支援センターおよび地域障害者職業センターが各地に設置されており、職業紹介、生活面の相談支援、ジョブコーチなど様々な場面の支援ができるようになっています。もっとこれらの施設の活用が望まれます。最後に雇用の分野における障害者差別禁止・合理的配慮の提供義務について解説いただきました。特に平成 28 年 4 月から施行となった合理的配慮指針についての内容と具体例の紹介がなされました。合理的配慮は事業者と障害者との話し合いによる相互理解の中で提供されるのが基本ですので、様々な疑義がある時には上述の支援機関を有効に活用して円満な職場環境の維持に努めていただきたいとのことです。

以上、障害者雇用促進法の基本を教えてくださいましたので、続くシンポジウムの内容を理解することができ、大変有意義な講演でした。

第 67 回近畿地方会シンポジウムを 拝聴して

(一財) 京都工場保健会



岡 本 昭 夫

シンポジウム「よりよい障害者雇用を行うために」では、順に雇用者・保健師・産業医・精神科医の立場から発表があった。各演者が障害者雇用に対する想い、工夫、問題点などを動画や事例紹介を含めて分かりやすく説明された。次いで特別講演講師の中塚毅先生を交え総合討論という充実した 2 時間であった。

発表を拝聴して「よりよい障害者雇用を行うため」には「当たり前のことを、協力して、より丁寧に言う」ことが大切であると私は感じた。

その理由は、合理的配慮について「特別なことはしていない」と各演者が発言されると同時に、障害者の要求の確認や関係部署との連携では非常に丁寧な対応がなされていることが伝わってきたからである。

①酒井直人先生（クボタグループ特例子会社社長）は、目標を持っていきいきと働く従業員の姿を動画で示された。また合理的配慮や教育に際しては写真や図を取り入れ障害者にも分かりやすくする工夫を紹介された。

②米山貴子先生（オムロンエキスパートリンク（株）保健師）は、会社が「人間性の尊重」を理念に掲げ、障害者が活躍できる環境整備に全社で取り組んでいると報告された。その中で保健師が各部署の連携支援で活躍していることを示された。

③黒木和志郎先生（パナソニック（株）CNS 社 産業医）は、特例子会社でも特別な産業医業務ではなく、本人と会社の懸け橋となる活動を意識していると述べられた。また障害者自ら設備や治具を工夫し、高い評価を得ている事例を挙げられた。

④出口裕彦先生（大阪市立大学 精神神経医学）は、就労が本人の自信に繋がった事例を 2 例、逆に会社のサポートが不十分で症状が悪化した事例を 1 例提示された。受け入れ企業の理解を深める支援が大切とのことである。

本シンポジウムを拝聴し、障害者雇用に取り組む基本姿勢と問題点を知ることができた。中小企業の嘱託産業医である私には、障害者雇用の問題に適切に対応する素地を得る良い機会になった。

会員の声



動物モデルを用いた発がん リスク評価

大阪市大・医・環境リスク評価学

魏 民

私は外科研修医時代に、がんの予防および治療の向上を図るためには、研究によってがんの本質をとらえ、新しい予防法および治療法への道を切り開くことが特に重要であると感じました。平成9年4月に大阪市立大学大学院医学研究科に入学以来、腫瘍病理学、特に実験動物モデルを用いた化学物質の発がん研究に携わってきました。主な研究テーマは、化学物質の発がんリスクの評価、発がん物質の早期検出モデルの開発、およびがん発生とその進展に寄与する新規分子の同定であります。

化学物質の発がんリスクに関する研究においては、これまで圓藤吟史先生をはじめ、産業衛生学会の先生方々にご指導いただき、動物および臨床試料を用いたヒ素の発がん性、印刷工場での職業性胆管がん、および化学工場での職業性膀胱がんの発生機序に関する研究に取り組

んできました。その中で、最近の職業性胆管がんおよび膀胱がんの事例から、産業衛生学的重要性を再認識しました。そして、改めて生活環境を取り巻く化学物質の発がん性問題は社会的かつ経済的に喫緊の課題であることを痛感し、それらを迅速かつ高精度に検証可能なシステムの確立は、社会的に必要とされていることを痛感いたしました。そのため現在、化学物質の発がん性を短期間かつ高精度に検出する *in vivo* スクリーニング系の開発に取り組んでおります。さらに、ヒト発がんリスクマネジメントに寄与する更なる信頼性の高い基礎的データの提供を目的とし、ベンチマークドーズを含めた様々の評価手法を取り入れて低用量域における発がん物質の用量反応性評価を行っています。

これからも初心を忘れず、がんの本質、すなわち発がん性機序の解明を目指すと同時に、患者や社会に還元できるような研究を進めていきます。微力ながら産業衛生学の更なる発展に貢献していきたいと考えておりますので、今後とも皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



技術部会会員の声

関西福祉科学大学

長見 まき子

これまで技術部会では労働衛生工学のエキスパートの先生が部会長を務めてこられましたが、今年度から心理職である長見が部会長を務めさせて頂くことになりました。専門性が違うのでは？と不信に思われる方々も多いと思いますし、当人も「本当にいいのかな」と心配な気持ちでございました。しかし、産業衛生技術は働く人の健康や well-being、快適な職場環境の創造に資することが目的ですが、昨今、職場では特にストレス・メンタルヘルス問題が働く人の健康や well-being の阻害要因となっています。心理-社会的なリスクの評価や環境改善による効果評価など心理学的な技術が重要性を増しています。そういう意味で心理の専門性で技術部会に貢献したいと考え、お引き受けすることにしました。さらに、心強いことに副部会長には中災防大阪労働衛生総合セン

ターの竹内靖人先生、管理業務を前部会長の圓藤陽子先生がお引き受けくださいました。

さて、技術部会設立の頃からの活動をふり返ってみますと、設立総会の際に“働く環境や状況について単に作業環境測定や曝露測定を行うのみならず、総合的な視野を持って職場環境の評価・改善・管理を行える人材の育成を期待する”ことが述べられています。産業衛生技術の範囲を作業環境管理や作業管理分野に狭く留めるのではなく、心理、栄養など広く産業衛生の様々な技術的側面に焦点をあてて、専門性を高め情報交換できるような部会のあり方を目指していきたいと考えています。その第一歩として今年度の研修会では栄養学と臨床心理学にフォーカスし、国立精神・神経医療研究センターの功刀浩先生に「うつが消えていく食事療法」を、長岡ヘルスケアセンターの若井貴史先生に「マインドフルネスによるうつ病予防」の講演をして頂きました。定員を超える70名以上の方々の参加を得て盛会となりました。このように幅広い産業衛生の技術を向上させる研修を今後も企画していく予定です。技術部会の活動にご期待ください。



多分野の専門家による総合的アプローチ

(株) リードウェル

深井 恭佑

はじめまして、株式会社リードウェルの深井恭佑と申します。

私の運営している株式会社リードウェルは、新大阪駅にオフィスを構え、主に産業医業務の受託をしている会社です。現在、私だけではなく、多くの先生方に助けて頂き、契約企業にサービスを提供できております。

今回は、私が代表理事として運営しております NPO 法人企業の健康いきいきプロジェクトについて、執筆させていただきます。

今、国を挙げて、働き方改革や健康経営の必要性が叫ばれ、国連が掲げる SDGs でも「働きがいと経済成長」、「すべての人に健康と福祉を」は重要な課題となっています。しかし、企業の担当者からは、「働き方改革というけど、実際は長時間労働の削減、有給休暇取得の奨励しか出来ていない」、「労働生産性向上で、短時間で成果をだすことが、ストレスとなり、メンタル不調者が増

えてしまった」という声を聞きます。

私は、労働生産性を上げるためには3つのアプローチが有効と考えております。まず、働く人の健康対策などの「個人アプローチ」次に、居心地のよい職場環境づくりなどの「空間アプローチ」そして、経営学や心理学の手法を取り入れた組織開発などの「組織アプローチ」です。多くの日本企業では、個人アプローチは産業医、保健師などの産業保健スタッフ、空間アプローチは職場任せ、組織アプローチは人事部門など、それぞれがバラバラに動いています。しかし、これでは、なかなか結果に繋がりません。

当法人は、上記の3つのアプローチを産業保健、経営学、心理学等の専門家が総合的に企業にアプローチできるプラットフォーム作りを行うために、本年1月に設立されました。3月に行われた設立記念フォーラムには300名を超える方々にご参加頂きました。

今後も、企業の働き方改革、健康経営を支援するため、多くの取り組みをしていきたいと考えております。

何卒ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

NPO 法人 企業の健康いきいきプロジェクト

ホームページ <http://kenkouikiiki.jp/>



地域と産業保健、2足のわらじを履いてみる

公文教育研究会 人材サポート部

中村 千賀

産業保健の仕事をして約20年。振り返ると、大学卒業後すぐに入社した会社での経験が今の私の保健師としてのベースになっています。今でも仕事で悩むと、最も尊敬している上司ならどうしていたか、どう考えていたか、無意識に考えています。産業保健の仕事が大好きでしたが、夫が在宅療養支援診療所を開設したのをきっかけに退職し、在宅医療と産業保健の2つの仕事をかけもつ道を選びました。

在宅医療の現場では、先日がんの終末期に在宅で過ごす選択をした患者様に関わりました。病気のことを話される時はとても悲痛な顔をされていましたが、仕事への思いを話される時はとても誇らしげで通勤できなくなるまで働いたことにとっても感謝されていました。亡くなられたとき、奥様が「最期はスーツを着させてあげた

い。この人はやっぱりスーツがよく似合うんです。」と言われたことがとても印象的でした。治療と仕事の両立支援をしている企業だったからこそ、最期まで彼らしく過ごせたのではないかと思いますと同時に、産業保健師として「治療と仕事の両立支援」がもっと浸透し当たり前になるように努力していきたいと強く思いました。

さて、産業保健師として現在関わっているのはKUMONという会社です。公文式教育法は、ひとりの父親の、わが子への愛情からはじまりました。保健師として関わると、「自学自習」を通して自立した人間を育てていきたいという KUMON の思いが伝わってきました。健康診断及び事後措置、ストレスチェック関連、メンタルヘルス対策など、法令遵守中心に保健師活動を行っていますが、今後は今の活動に加えて、公文式教育法で大切にしている「自学自習」を生活習慣改善に取り入れて、KUMON だからこそできることを、産業医・保健師と一緒に開発し展開していきたいと考えています。

これからも、両方の立場で、地域で働く人、地域で最期まで自宅で過ごす人を支援していきたいと思っております。

第 59 回近畿産業衛生学会のお知らせ（第 2 報）

第 59 回近畿産業衛生学会長 森口次郎（京都工場保健会 理事／京都府医師会 理事）

1. テーマ「産業保健職のキャリアを考える ～私たちの未来予想図～」

2. 会場

立命館大学 朱雀キャンパス

〒 604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町 1

JR 京都駅から嵯峨野山陰線にて約 10 分

二条駅下車、徒歩約 2 分

阪急梅田駅から京都線にて約 40 分

大宮駅下車、徒歩約 10 分

3. 日時

2019 年 11 月 9 日（土）9：20～17：10 予定

4. プログラム

午前…一般演題

(1) 教育講演「『プロスポーツの社会貢献』—今日の社会とスポーツ—」

演者：種子田 穰（立命館大学 スポーツ健康科学部 教授）

昼…幹事会

(2) ランチョンセミナー「プレゼンティーズム軽減に向けた個人的アプローチ —腰痛・肩こり・メンタルヘルスを含む包括的対策—」

演者：松平 浩（東京大学医学部附属病院 22 世紀医療センター 特任教授）

午後…代議員会

(3) 基調講演「我が国の産業保健プロフェッショナルの育成システム—これまでと今後—」

演者：森 晃爾（産業医科大学 産業生態科学研究所 産業保健経営学 教授）

(4) シンポジウム「『よりよい産業保健サービスをめざして』～専門性向上と連携強化～」

演者：津田 由紀（パナソニック健康保険組合 健康管理センター）

演者：森崎 美奈子（京都文教大学・日本産業心理職協会）

演者：佐本 一（京都工場保健会）

演者：森口 次郎（京都府医師会・京都工場保健会）

※日本医師会認定産業医、産業保健看護専門家の研修単位認定申請中。

5. 一般演題申込

(1) 演題申込

演題の申込は本ニュース同封の「演題申込用紙」あるいは第 59 回近畿産業衛生学会ホームページよりダウンロードした「演題申込用紙」に必要事項

をご記入の上、8 月 31 日（土）までに、事務局まで FAX、E メールのいずれかでお申込み下さい。受付完了の返信を 1 週間以内に送りますので、返信がない場合は事務局へ電話でお問い合わせ下さい。

一般演題の筆頭演者は、日本産業衛生学会の学会員であることが必要です。会員でない方は、入会手続きを事前に行ってください。

(2) 抄録の作成：「発表抄録原稿」および「産業衛生学雑誌投稿用 400 字原稿」

学会ホームページより「発表抄録原稿の作成要項」をダウンロードし、要領に従って作成して下さい。また産業衛生学雑誌に掲載するための本文 400 文字以内の原稿も作成してください。2 つの原稿を 9 月 14 日（土）までに事務局までメール添付でお送り下さい。（FAX・郵送不可）

(3) 発表者用パワーポイントファイル

発表方法は PowerPoint のみとします。発表用データは、10 月 31 日（木）までに事務局へメール添付でお送り下さい。原則として、学会当日の受付・差し替えはいたしません。メールの件名は「発表データ（演者氏名）」としてください。11 月 5 日（火）14 時までに受領確認の返信メールをお送りします。14 時を過ぎても返信メールがない場合は、事務局に電話で確認してください。

一般演題の構成は、発表 7 分＋質疑応答 3 分（移動時間込み）の予定です。

発表方法は Windows 版 PowerPoint（Office 2007・2010・2013 のみ、2016 は不可）とします。画面の解像度は XGA（1,024×768）（4：3）でお願いいたします。標準フォント以外は正常に表示されない可能性があるため、使用を避けてください。動画ファイルをご希望の方は、事前に事務局へご相談ください。対応できない場合があります。

6. 近畿産業衛生学会優秀演題賞と若手奨励賞

優れた演題の発表者に対し優秀演題賞が贈られます。また今回も若手奨励賞を設けます。対象者は一般演題の発表者の内、学生・若手研究者（申込時に 40 歳未満）に該当する方です。該当者は演題申込用紙の所定の欄に○印をつけて下さい。多数の演題申込みをお待ちしております。

7. 事前登録・参加費

(1) 日本産業衛生学会の学会員 1,000 円

京都府医師会員 1,000 円 大学院生・学生 1,000 円

その他 2,000 円

当日受付も可能ですが、参加者数把握のため 10 月 31 日 (木) までにホームページにて事前登録にご協力下さい。

(2) 日医産業医研修の単位取得 (以下、別途必要)

京都府医師会員 1,500 円 それ以外の方 3,000 円

8. その他

(1) 昼食

ランチョンセミナーを予定しております。当日受付にて整理券を配布します。周辺にはコンビニ、レストランもあります。

(2) 懇親会

参加費は、4,000 円 (税込) です。事前申込み制です。ホームページからお申込みください。

申込期日は 10 月 21 日 (月) です、学会当日も若干受付は可能ですが、数に限りがございます。

伏見の銘酒飲み比べ、ローストビーフなどのライブケータリング、有名和菓子の食べ比べなどを企画しております。ぜひ皆様ご参加下さい。

(3) 託児について

ホームページにてご案内いたします。

9. 演題申込・問い合わせ先

〒604-8871 京都市中京区壬生朱雀町 4 番 1

ノアーズアーク京都朱雀 2 階

一般財団法人 京都工場保健会 産業保健推進室
(担当：原田 大橋)

第 59 回近畿産業衛生学会事務局

TEL : 075-205-5067, FAX : 075-803-6555

E メール : kinki2019@hokenkai.jp

10. 実行委員

事務局長：櫻木 園子 (京都工場保健会 医師)

顧問：松井 道宣 (京都府医師会 会長)

顧問：渡邊 能行 (京都先端科学大学 健康医療学部 看護学科 教授、健康医療学部長)

顧問：丸中 良典 (京都工場保健会 診療所長)
(五十音順)

今川 かおる (オムロンエクスパートリンク株式会社 保健師)

内山 鉄朗 (オムロンエクスパートリンク株式会社 医師)

大塚 創平 (株式会社 村田製作所 医師)

片桐 陽子 (栄仁会 京都駅前メンタルクリニック 臨床心理士)

川畑 真理 (株式会社 SCREEN ビジネスエクスパート 保健師)

川村 和子 (株式会社 村田製作所 医師)

佐本 一 (京都工場保健会 作業環境測定士 & 日測協認定オキュペイショナルハイジニスト (IOHA 認証))

杉本 二郎 (京都産業メンタルヘルスセンター からすまメンタルクリニック 医師)

中川 克 (立命館大学 保健センター 医師)

中山 健夫 (京都大学大学院 医学研究科 健康情報学分野 医師)

原田 昌子 (パナソニックセミコンダクターソリューションズ株式会社 保健師)

古海 勝彦 (任天堂株式会社 医師)

水本 正志 (京都工場保健会 臨床心理士)

村田 理絵 (京都工場保健会 保健師)

山田 達治 (京セラ株式会社 医師)

11. 共催・後援

共催・・・京都府医師会・京都産業保健総合支援センター・立命館大学保健センター

後援・・・関西産業健康管理研究会

12. 大会ホームページ

<https://jsoh-kinki.jp/jsohkinki-59/>



©京都府 まゆまろ 登録番号10040



清水寺
(ただいま平成の大改修にて本堂屋根工事中 2020年3月完成予定)

スケジュール要約

8 月 31 日 (土)	一般演題登録 締切
9 月 14 日 (土)	抄録集用原稿・産衛誌用 400 字抄録 締切
10 月 21 日 (月)	懇親会 申込み締切
10 月 31 日 (木)	事前参加登録 締切
10 月 31 日 (木)	発表スライド 受付締切

※尚、学会発表された会員に地方会ニュースの記事、「会員の声」の執筆等の依頼を担当者からさせていただきます。その際はご協力頂きますようお願いいたします。

日本産業衛生学会印象記

「第 92 回日本産業衛生学会に参加して」

みずほ健康保険組合
大阪健康開発センター

早坂 友咲



5月22日～25日に名古屋で行われた第92回日本産業衛生学会に参加致しました。今年度は「現場への貢献！～人・企業・社会を支える～」というテーマで、治療との両立支援やメンタルヘルス対策、喫煙対策はもちろん、最近のトピックスである働き方改革やAIなど大変興味深い講演ばかりで、私も現場に貢献できているのか？と考えさせられた学会でした。

今回の学会で特に印象に残ったものがシンポジウム9の「発達障害の特徴と職場における対応」です。特に産業医科大学の永田昌子先生のご講演の中で、私達は発達障害の方が性格、能力、業務内容、職場環境、二次障害などのどこでつまづいているのか丁寧にアセスメントし、さらに周囲の思いも把握することが重要であり、対応の基本は「本人が特性上出来ないことは求めず、本人が出来る工夫を促すこと」と「障害特性に応じて環境を調整すること」の2つだと学びました。発達障害の労働者がいる職場では、その特性からパワハラが起りやすく、適切な対応をする上で、上司は発達障害の方にみんなと同じことを求めないなど、発達障害に関する知識を学び、部下への指示の仕方を理解する必要があるとのことでした。職場環境を調整する際に「障害特性を評価し適正に合った仕事を判断するのが難しい」、「障害特性に配慮した仕事が社内にはない」、「障害特性に応じた配慮の受け入れが難しい」といった問題がよく発生しますが、SPI（総合適性検査）の結果からできる仕事を見つける、それがどうしても難しい場合は、障害者職業センター等からの支援を受けるなどの対策ができることも学びました。

他にも様々な講演を拝聴して、どこの企業でもメンタルヘルス対策で困っている事例が多々あり、皆さん試行錯誤しながら対応されていることを実感致しました。今回学んだことを活かしながら日々の業務に取り組んでいきたいと思います。

日本産業衛生学会印象記

「第 92 回日本産業衛生学会に参加して」

TIS（株）・健康相談室

市川 佳子

名古屋で開催された日本産業衛生学会に2019年5月23日～5月25日の3日間参加しました。5月だというのに夏日となった暑い3日間でした。プログラムも大変充実しており、どの内容も興味深いものでした。

昨今どんなところにも出てきている「AI」について、シンポジウムでの先生方の講演を興味深く拝聴しました。私は西井先生のお話から「人間の脳神経細胞をモデルにしたのがディープラーニングである」ことを初めて知り、そこから食い入るように聞いていました。そして、藤田先生の病院では、精神疾患カルテ2300万件（患者数9000人分）のデータをAIで解析してデータベース化した期間がたった約1ヵ月という速さに驚きました。難治化の原因が類似した患者の選別、それらの平均入院期間や再入院までの平均期間、薬剤選択等の治療の介入比較など、他の患者との違いの比較も可能になり、個々のサマリーも出来上がるというところに改めて「AI」の技術に驚きました。また白鳥先生からビッグデータ活用において現在あるデータを学習させるために整合性等の課題があること、そして膨大なデータを中枢機関病院から各地域や産業への連携など各関係者が使いこなせることが可能になっていく未来に感動しました。診断するために裏付けとなる膨大なデータが必要であり、「AI」が診断した、ということをしかりと説明できる技術（人間）が今後必要になるという学びがありました。今後日本の人手不足は明らかであり、働き方改革という視点からも業務の効率化や能力化を「AI」に委ねていかなければ限界があるという内容に実感しました。

教育講演では安藤先生の「ダイバーシティ・マネジメントに寄与するアンガーマネジメント」を拝聴しました。怒りの出来事を①出来事（事実）②理解（意味づけ）③感情の流れでワークをしました。そこでの学びは「価値観はみんな違って当たり前」であること、同じ出来事（事実）を共有し、価値観は違っていいので、そこからルールを作っていけばいい、相手の価値観を尊重した多様性に対する寛容さを持つことが重要だということでした。社内でも価値観の相違で悩み、上手いかわないとストレスが大きくなる社員やメンタルヘルス不調に陥る社員が多く、アンガーマネジメントの考えをセルフケアの方法の1つとして広めていきたいと思いました。



故 廣田 昌弘先生を偲んで

60年以上にわたり、産業医として産業保健の第一線で御活躍されておられました廣田昌弘先生が平成31年1月7日にご逝去されました。

廣田昌弘先生は、昭和33年4月に岐阜大学医学部公衆衛生学教室に入局され、同年10月より13年間にわたり三井金属神岡鉱業所病院に勤務されました。当時、原因不明の奇病とされていたイタイタイ病の研究に心血を注がれ、11年間以上に及ぶ膨大な動物実験のデータから、高濃度のカドミウムの曝露により、イタイタイ病に見られる腎臓や骨の障害が誘発されるものの、低濃度の長期暴露ではイタイタイ病が発生しえないことを実証されました。当時大勢を占めていたイタイタイ病のカドミウム原因説に対して、情勢に流されることなく、強い信念をもって、イタイタイ病カドミウム原因説を否定された気骨あふれる研究者としての姿勢に心打たれました。

三井金属を退職された後40年間、三洋電機岐阜事業所産業医、本社統括産業医を務められました。循環器専門医から専属産業医に転科したばかりで、産業医の実務経験が全くない私に対して、御自身の豊富な産業医経験を基に、16年間も永きにわたり御指導頂きましたひとつひとつの言葉が今日の私の産業医活動の礎となっています。私が専属産業医として三洋電機に着任した20数年前には、専属産業医は非常に珍しく、臨床医が産業医を兼任することがほとんどでしたので、臨床医からは産業医の業務が軽視される傾向にありました。「産業医の仕事は、臨床医が片手間でできるような簡単なものではない」、廣田先生のこの言葉を胸に、三洋電機専属産業医を退職した今でも、開業産業医として歩み続けています。

廣田昌弘先生の御冥福を心からお祈り申し上げます。

株式会社健康管理室 統括産業医 益江 毅

第24回産業医部会研修会

「就業と治療の両立支援についてー現状と問題点ー」

日時：2019年9月28日（土） 14:00～17:10

場所：エル・おおさか 南館5階ホール（大阪市中央区北浜東3-14）

対象：産業医（産業看護職、人事・労務・産業保健実務担当者も可）

主催：日本産業衛生学会 近畿地方会産業医部会（実行委員長 坂田晃一）

共催：大阪府医師会

後援：滋賀県医師会、京都府医師会、兵庫県医師会、奈良県医師会、和歌山県医師会、大阪産業保健総合支援センター

(1) 基調講演 「就業と治療の両立支援の現状と課題」
座長：伊藤 正人（パナソニック健康保険組合 健康管理センター）

講師：立石清一郎（産業医科大学両立支援科診療科長）

(2) シンポジウム「事業場における事例報告及び課題等」

座長：坂田 晃一（川崎重工業株式会社 兵庫工場）

シンポジスト：

西本 真証（センクス産業医事務所）「専属・嘱託産業医の立場から」

久米田知佳（日本製鉄（株）大阪支社）「産業看護職の立場から」

平田 直子（関西労災病院）「両立支援コーディネーターの立場から」

コメンテーター：立石清一郎

受講料：日本産業衛生学会産業医部会員 無料
産業医部会員以外で、認定産業医単位が必要でない方；2,000円 必要な方；4,000円

定員：200名（先着順）

研修単位：日本医師会認定産業医 生涯研修（専門）3単位（申請中）

申込方法：（8月1日より受付開始、随時受講票を郵送します。）

氏名、職種、日本医師会認定要不要、連絡先住所、電話を記載の上、電子メールまたは近畿地方会ホームページからお申し込みください。

メールアドレス：kinki-ohp@ohassist.jp

電子メールが使用できない方はFAX（06-7632-4070）でも受け付けます。

産業看護部会からのお知らせ

○第2回 定例研修会のご案内

日時：2020年1月18日（土）

13：30～17：00 予定

会場：エルおおさか南館 10階 1023

内容：

①講演会：「産業看護職が知っておきたい組織論と
AI：Appreciative Inquiry（組織開発）」

講師：北居 明 先生（甲南大学経営学
部 教授）

②懇談会：「今後の産業保健看護の展望と将来に向け
た活動について」（仮題）

講師：産業看護部会執行役員調整中

定員：100名（先着順）

参加費：日本産業衛生学会員 無料 非会員 500円
（資料代）

○産業看護部会本部研修のご案内

①【基礎研修Aコース】申し込み開始しました。

「産業保健看護専門家登録者試験」合格者向けの集中
研修「基礎研修Aコース」の申し込みを開始しました。
Aコースは、Bコースと合わせると合計50単位取得で
きる研修です。（Bコースは2020年8月開催予定）すで
に登録者の方で早めに単位取得を完了したい方や、新
人研修、学び直し研修等として活用したい方も受講可
能です。

日時：2019年8月29日（木）～31日（土）

会場：東京工科大学蒲田キャンパス

申し込み・詳細はこちらから

<http://sangyo-kango.org/wp/>

②「登録者認定試験準備講座」のご案内

今年度、初めて近畿地方会での開催が決まりました。
是非、この機会をご活用ください！

2020年1月に開催される産業保健看護専門家制度の
「登録者試験」を受験される方のための準備講座です。
「登録者試験」は保健師国家試験レベルで広範囲から出
題されるため、登録者試験を受験予定の方は自己学習
に活用ください。

<開催予定>

・九州地方会：2019年9月28日（土）

会場：大塚製薬（株）福岡支店会議室

・近畿地方会：2019年10月20日（日）

会場：大阪市立住まい情報センター研修室

・本部（東京）：2019年11月9日（土）

会場：調整中

講義内容：公衆衛生看護学全般

申し込み方法等の詳細は7月中旬以降に 産業看護部
会ホームページ・近畿地方会ホームページで随時お知ら
せします。

URL：<http://sangyo-kango.org/wp/>

産業衛生技術部会からのお知らせ

2019年度から、部会長が関西福祉科学大学・長見
まき子教授、副部会長が中災防大阪労働衛生総合セン
ター・竹内靖人室長補佐になっています。

新体制による総会を2019年11月9日（土）開催の
第59回近畿産業衛生学会場の立命館大学朱雀キャン
パス 多目的室2にて11：55～12：50に開催します。
議題は2019年度事業報告と会計報告および2020年度
事業予定などです。皆様のご出席と活発な討議を期待
します。なお、会場案内板には、「産業衛生技術部会
総会」と記載されます。

この会には、お弁当とお茶を用意します。出席の有
無を9月中旬にメールにてお尋ねしますので、お返事を
宜しくお願い致します。

編集後記

令和元年6月8日（土）、令和始まって初の第67
回近畿地方会総会および学術集会が盛況に終わりました。
今年のテーマは「障害者雇用を考える」でした。
予算が限られる中、今年も各部会や研究会、大
学・部会・研究会の連携プロジェクトの幹事の先生
方が、様々なテーマを企画し、研修会を開催予定で
す。多くの方が参加することで、近畿地方会がさら

に活気づき、後世に引き継がれることを願ってやみ
ません。（堤 梨恵）

編集委員（50音順）

圓藤 陽子 清原 達也（代表幹事）

久保田昌詞（担当理事） 鈴木 純子（担当理事）

堤 梨恵 藤岡 滋典 村田 理絵（代表幹事）